

やまだ防災だより

第4版 令和4年7月15日
発行・編集
山田町総務課 危機管理室
0193-82-3111
内線415、429

ハザードマップ作成に係るワークショップを開催します

今年度作成を予定している総合防災ハザードマップ作成に係るワークショップを開催します。このワークショップは、ハザードマップに掲載する各種災害の想定区域や指定緊急避難場所・指定避難所、避難経路等の情報のほか、地区固有の危険箇所等についてもハザードマップに反映させるため、住民の皆さんからご意見をいただくことなどを目的に開催するものです。各地区の開催場所、日時は以下の表のとおりです。皆様のご参加をお待ちしております。

◆開催場所及び日時

対象地区	開催場所	開催日	時間
大沢	ふるさとセンター	7月29日(金)	午後6時～8時
豊間根	豊間根生活改善センター	7月30日(土)	午前10時～正午
織笠	織笠コミュニティセンター	7月30日(土)	午後2時～4時
大浦	大浦漁村センター	7月30日(土)	午後6時～8時
山田	町中央コミュニティセンター	7月31日(日)	午前10時～正午
田の浜	田の浜コミュニティセンター	7月31日(日)	午後2時～4時
船越	船越防災センター	8月1日(月)	午後6時～8時



危険箇所等を確認します
出典：総務省消防庁HP

◆内容

- ・想定される各種災害に関する説明
- ・ハザードマップ素案を用いた災害図上訓練

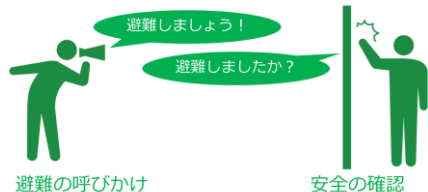
土砂災害に注意しましょう

これから大雨の季節を迎えますが、土砂災害から身を守るため、あらかじめ自宅周辺における土砂災害の危険性や避難経路、避難情報の入手方法などを確認し、いざというときに備えましょう。

2022年「土砂災害・全国防災訓練」の実施

[2022年キャッチフレーズ]

「避難の呼びかけ、安全の確認」



避難の呼びかけ

安全の確認

岩手県の土砂災害に関する情報

◆県の土砂災害警戒区域等の公表状況



<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0607/>

◆県土砂災害警戒情報システム（土砂災害が起きる危険度情報）



<http://sabo.pref.iwate.jp/>

◆問い合わせ 宮古土木センター ☎64-2221
県土整備部砂防災害課 ☎019-629-5922

津波フラッグは避難の合図です

町では、津波警報等が発表された場合に、海水浴場等を利用している方が直ちに避難ができるよう「津波フラッグ（津波警報等の視覚的伝達）」を設置しています。気象庁が発表する津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレンなど様々な手段で伝達されますが、海水浴場における津波警報等の伝達に赤と白の格子模様の旗である「津波フラッグ」が令和2年6月から活用されるようになりました。海水浴場を利用する聴覚障がい等の方々や波音や風で音声聞き取りにくい遊泳中の方、外国人の方にも津波警報等の発表を視覚的にお知らせできます。海岸で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難しましょう。



＜町内で設置の海水浴場＞

- ・オランダ島海水浴場
- ・浦の浜海水浴場
- ・荒神海水浴場

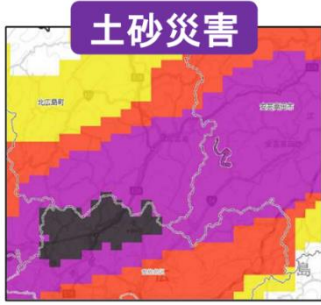


いざという時の心構えを忘れずに

キキクルを活用しましょう

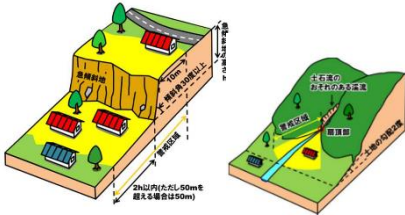
キキクル（危険度分布）は、気象庁が発表する防災気象情報の一つで、警報が発表されたときや強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているか知ることができます。災害が発生する前に安全な避難行動がとれるよう、これらの情報を活用しましょう。

◆土砂キキクルの参考画像



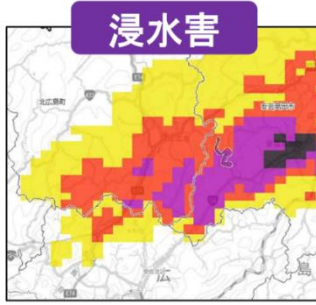
大雨警報（土砂災害）の危険度分布

◆土砂災害発生の危険箇所



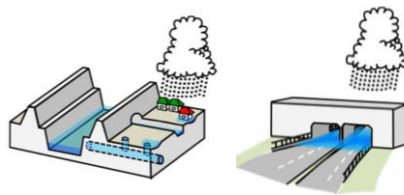
- ・崩壊の危険がある急傾斜地
- ・土石流の恐れのある区域

◆浸水キキクルの参考画像



大雨警報（浸水害）の危険度分布

◆浸水害発生の危険箇所



- ・周囲より低い場所
- ・アンダーパス など

◆洪水キキクルの参考画像



洪水警報の危険度分布

◆洪水発生の危険箇所



- ・山間部の流れの速い河川で川岸が削られて家屋が流されてしまう場所
- ・川からあふれた水の流れにより家屋が流出してしまう場所
- ・川の付近の低地の家屋などのように深く浸水してしまう場所
- ・ゼロメートル地帯のように、浸水が長時間継続してしまう場所 など

◆キキクルの見方・知り方
気象庁HPから見る
ことができます。

また、危険度を通知する
スマホのアプリもあります
ので、ご利用ください。



画像等の出典 気象庁

◆キキクルの色に応じた住民等の行動の例

色が持つ意味	土砂災害状況	浸水害状況	洪水状況	住民等の行動の例
災害切迫 【レベル5相当】	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。すでに発生している可能性が高い状況。	重大な浸水害が切迫。浸水害がすでに発生している可能性が高い状況。	重大な洪水災害が切迫。洪水災害がすでに発生している可能性が高い状況。	命の危険 直ちに身の安全を確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難> ~~~~~				
<b>危険</b> 【レベル4相当】	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所がわからなくなるおそれがある。	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生する可能性が高い状況。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域等の外へ避難。</li> <li>・各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動する。</li> <li>・水位が一定の水位を超えている場合には、安全な場所へ避難する。</li> </ul>
<b>警戒</b> 【レベル3相当】	土砂災害への警戒が必要な状況。	側溝などがあふれ、道路がいつ冠水してもおかしくない。	洪水災害への警戒が必要な状況。	高齢者等は安全な場所へ避難する。高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。
<b>注意</b> 【レベル2相当】	土砂災害への注意が必要な状況。	周囲より低い場所で側溝などがあふれ、道路が冠水するおそれがある。	洪水災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況に留意する。
<b>今後の情報等に留意</b>	—	普段と同じ状況。今後の情報等に留意	—	今後の情報や周囲の状況に留意する。